

# 低炭素まちづくりの知識創造 スパイラルアップ学習会



講座  
**4** 2016  
2/10(水)

## 地域・企業・行政協働でまちづくりの物語を

【講師】延藤安弘

NPO法人まちの縁側育み隊代表理事  
錦二丁目まちの会所 世話役

最終回の第4回は、錦二丁目長者町のまちづくりの経緯や今年度実施した学習会を踏まえて、次年度に低炭素まちづくりをどのように進



▲振り返り幻燈会の様子

めるか、そのアクションの方向性を探るために、NPO法人まちの縁側育み隊代表理事であり錦二丁目まちの会所世話役でもある延藤安弘氏による振り返り幻燈会から始まりました。



▲延藤安弘氏

「低炭素」とは、都市活動から発生し地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を低くすることであり、錦二丁目では「低炭素まちづくり」を取り組む際に、**個人／地域／地球が生き生きと共に生きる営みをレジリエント(強靱)にしなやかにエコロジカル(生態・社会・精神面)にはぐくむことが大切**と考えています。錦二丁目では、このような考え方やこの考え方に基づくまちづくりを「ライフまちづくり」と呼んでいます。



▲田宮副市長

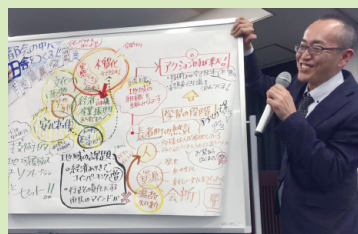
振り返り幻燈会の後には、名古屋市・田宮副市長から、既存のまちづくりに合わせて「低炭素」に取り組む錦二丁目への期待と激励のお言葉をいただき、次年度に向けた機運が高まりました。

その後は、地域・企業・行政など多様な参加者が6テーブルに分かれて「協働まちづくりの物語」を目指して議論風発のワークショップを行いました。各テーブルでは「都会の中に自然をつくる」ために「もちのような(粘り強い)まちづくり」など、ハッとする言葉が飛び交いました。



▲ワークショップの様子

その後の発表では、「アクションの 때가来た!ぼくはやる!」とまちの若手・中堅経営者らが笑いながら発表し、**前向きな雰囲気の中で、次年度に向けたアクションの方向性が共有**されました。



▲発表の様子

ワークショップの後は、村山顕人先生(錦二丁目まちづくり協議会低炭素地区会議議長)から、**2030年(マスタープランの目標年、リニア中央新幹線開通の3年後)を見据えて低炭素型都心居住誘導を、行政と地域は協働して進めよう**との総括をいただき、今後に向けた方向性が強く印象付けられました。

# ワークショップより

## グループ①

### 低炭素はまちのXXだ!!

- 会所に代表される地区の歴史を強みととらえて、長者町スタイルの経済と文化を
- 職住近接の生活を取り戻そう

## グループ②

### みんなが関わることができる “モチ”のようなまちづくり!

- 多様な主体、老若男女問わず、みんなが参加できる場として餅つきがきっかけとなる
- トワイライトスクールで企業と子どもがつながる企画も有効

## グループ③

### 常識を越えて変化へのデザインを

- モデル地区、木質化、トリエンナーレなど既存の取組のなかでチャレンジ
- 建物を有効活用しながら、都心居住に向けた新たなルールづくりやビジネスモデルを
- 企業や行政との連携では体制づくりや広報が重要

## グループ④

### 都会の中に田舎をつくる!!

- 学習の1年を経てアクションの 때가来た!!
- 技術的地域貢献はソフトプラントセットで進めよう
- 多様な人が参加する長者町の熱気を大切に

## グループ⑤

### 人も自然も社会も!! 風通しのよい エコロジカルタウン錦二丁目

- ゴミ共同処理の実施
- 長者町ランチモール!!
- 屋上やコインパーキングの利活用した緑化や休憩スペースづくり
- 木質化を継続しつつ、多様な主体の連携を通して少しずつ時代に合わせたエコタウンに変えていく

## グループ⑥

### 長者町スタイル! まちのシェアリング

- 時間、人間性、自然、住まうことを取り戻す!!
- 多世代が安心して住むことができるまちを目指そう

## これからに向けてのキーワード

- 理** 理念からアクションの 때가来た! ワクワク&リーズナブルに!
- ま** まちの経済と文化の温故知新で長者町スタイルを!
- 時** 時間と人間性と自然と住まうことをとりもどそう! まちは劇場!
- ハ** ハウス栽培と木質化で屋上レンタルシステムや工房づくりを! 幼老まざりあい!
- は** はうように風通しの良い木質化と緑ひろがるゴミ共同処理等のエコロジカルまちづくり
- リ** リーディング技術的地域貢献はソフトプランとセットで!
- わ** わかりやすい伝え方を小学校のトワイライトスクールに、地域と企業で届けよう!
- オ** オープンな都心居住のしかけを! 多世代! 医・食・職自由のしかけを!

→ **おわりははじまり!**

次年度に向けて力を合わせましょう!

## 講座4の総括

### 地域・企業・行政協働でまちづくりの物語をつくる 7つのキーワード

- 1 Together** ——— みんな一緒に
- 2 Unique** ——— 他にはないユニークな取り組みを
- 3 Vitality** ——— それには活力が必要
- 4 Wisdom** ——— 知識と知恵も
- 5 eXciting** ——— わくわくしながら
- 6 Yahoo!** ——— 思わず声が出る喜びへ
- 7 Zigzag** ——— 道は険しく最短距離では行けない

村山顕人氏(東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授 / 錦二丁目低炭素地区会議 議長)

低炭素まちづくりの  
A to Z

A~Eは講座1、F~L,Zは講座2、  
M~Sは講座3のキーワード

## アンケートにご回答いただきました

- まちの問題の一つが見えた気がした。
- 敷居が高いので、この地域での勤労者・消費者に如何に伝えていくかのステップを学んでいきたい。(錦二丁目地権者・事業者)

- 別々の班の議論でも共通のキーワードが出てきたのが驚きで、皆さん長者町の未来がどちらにあるか見えてるんだなあと思いました。(行政職員)

- 長者町が劇場で人はスター、その中での低炭素モデルは個々から仲間へ広げていくということ。
- 小さなことでも来年度何か行動にうつしたいです。
- 自分の担当するプロジェクトで着地構想図を作ってみよう。
- 地権者と企業公募の出会いの場を創出したらおもしろいのではないか。(賛助会員)